

## 開港70周年の節目に徳島小松島港の来し方行く末を考える

当事務所では、徳島県、小松島市と共に事務局となり、開港70周年の節目に、徳島小松島港の将来像を関係者で検討し、中期構想を策定すること等を目的とした「徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を立ち上げました。

徳島小松島港は、古くから天然の良港として知られ、また、藍の積出港としても栄えました。近年になって外国貿易のための大型岸壁や物流・生産拠点としての産業団地を整備し、徳島県の経済発展を支えてきました。現在は、四国で唯一となる首都圏を結ぶフェリー航路や阪神港を結ぶ国際フィーダー航路、国際コンテナ航路等を有し、四国の産業・経済にとって重要な港湾となっています。

一方で、港湾背後への高速道路延伸、新たな企業の立地、クルーズ船寄港の増大、トラックドライバー不足、南海トラフ地震の切迫性の高まり、港湾施設等の老朽化、陳腐化など徳島小松島港を取り巻く状況は大きく変化してきています。

このような中、平成30年9月26日「第一回徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を開催し、委員の皆様より、徳島小松島港の抱える課題や将来像についてご意見を伺いました。

現在、中期構想の策定に向けて頂いたご意見をもとに検討を進めており、今年度中に「第二回徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を開催する予定です。



第一回委員会の様子  
(活発な議論が行われました。)

## 今年も県内各地で「リフレッシュ瀬戸内」を開催！

「リフレッシュ瀬戸内」とは、美しい瀬戸内海を次の世代へ引き継ごうと、平成5年から瀬戸内海の沿岸自治体で毎年行われている海岸の清掃活動です。

徳島県内では5月～7月にかけて、松茂町、鳴門市、小松島市、阿南市、徳島市において海岸清掃を行いました。延べ2,893人が参加し、合計12tものゴミを回収しました。

当事務所の海面清掃兼油回収船「みずき」も出動し、海面の浮遊ゴミの回収を行いました。また、事業概要を紹介するパネルを展示し、多くの方々に当事務所の役割について知って頂きました。

リフレッシュ瀬戸内は来年度も開催を予定しております。美しい地元の海岸のために、皆さんも一緒に参加しませんか？



清掃活動の様子  
(小松島市横須・金磯海岸にて)



「みずき」出動



熱心にパネルを見る参加者の方々